アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について

学校名［　佐賀市立赤松小学校　］　担当教諭［　飯盛直子・井上孝子・松本佳子　］			
児童生徒の学年・参加人数（複数学年であれば学年別に）：［　２年　９８名　］			
実施期間：　２００８年9月　～　２００９年1月			
実施教科・時数（関連させたものをすべて）	教科	単元名	時数
	生活	アートマイルをえがこう（提案の準備 2-2）	1
	なし（朝の時間）	アートマイルをえがこう（提案・承認）	0.5
	図画工作	命のつながりをえがこう（各自）	2
	図画工作	アートマイルを鑑賞しよう（学級）	1
	生活	アートマイルでつながろう（学級）	1.5
	学級活動	アートマイルのことを発表しよう（学年）	1

■作品について

題（テーマ）	命のつながり
絵にこめたメッセージ	命はつながっています。野菜や花を育ててそれが分かりました。野菜の命は私たちの命につながっています。野菜をたくさん食べて大きく育ちたいと思います。 種をまいて次の花を咲かせたいです。花の命は，種でつながっているからです。 赤松の校区には，子どもを見守ってくれているやさしい町の人がたくさんいます。100 周年の記念にもなるので，赤松の絵を描きました。

■主な活動の流れ

場面	時期	学習活動・学習内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	５月	(1)２組で描く提案の準備をする。 ○　生活科の学習経験を中心とした絵のテーマ・構図・描くもの・学習計画について考える。	○　「命のつながり」について描くことを決めよう。 ・　生活科で野菜を育てて食べる。野菜を食べて，元気に大きく育ちたい。 ・　生活科で花を育てて種を１年生にプレゼントした。 ・　町探検で，赤松の人々に見守られていることを感じた。	生活

提案 承認	6月 30日	⑵テーマを決定し、学習計画を練る。 ○　生活科での学習経験を中心にして，図画工作科の学習で描くことを決める。 	○　テーマを「命のつながり」にしよう。 ・　周りに野菜や花を描きたい。 ・　中央部分は各学級で決めて描こう。 ２組：野菜栽培・町探検で出会った人 １組：ウサギなどの動物や遊び ３組：大きくなった自分 ・　２組（右）→１組（中）→３組（左）の順で図画工作科の時間に描こう。	朝の時間 （学年）
製作	9月 ～ 11月	⑶アートマイルを制作する。 ○　各学級にアートマイルリーダーを作り，各学級単位でのアートマイルに関する学習のお世話をすることを決める。 ○　グループごとに作業を行い，各自で描く。 	○　リーダーの計画のもと，自分から積極的に取り組んで，完成させよう。 	図画工作
交流 鑑賞	12月 ～ 1月	⑷熊本・ジャカルタの小学校と交流する。 ○　ジャカルタから絵を借りて，展覧会を開く。 ・　放送 ・　掲示 ○　熊本と絵を交換して，鑑賞をしながら交流を行う。 	○　自分たちでできる展覧会を行おう。 ○　熊本にも友達を作ろう。 ・　赤松の絵とジャカルタの絵のミッケカードを書こう。 ・　ビデオ会議を行おう。 ・　絵につけくわえをしよう。 	休み時間 図画工作 生活
振り 返り	12月	⑸振り返りを行う。 ○　制作に協力してくれた方々に感謝したり協力できたことを喜んだりする。 	○　集会でこの活動を発表しよう。 ・　アートマイルリーダーの発表 「テーマは『命のつながり』です。２年生みんなでかきました。ジャカルタ日本人学校や熊本の春日小学校のみなさんと絵で交流をしています。」	学級活動

■学習目標と成果（順位は重視したものから順に１～５まで記入。）

（５：とても身についた　４：身についた　３：どちらともいえない　２：あまり身につかなかった　１：まったく関連がなかった）

順位	つけたい力・指導目標	教師の手応え	そう感じた場面・理由
３	コミュニケーション・スキル	４	絵や活動について話し合うとき，絵を描くとき，交流をするとき，それぞれの時間にスキルの確認や選択を行うことで，子どもたちが自らで考え，力を付けることができた。
	情報活用能力（収集・発信）	４	電子メールや手紙，ＨＰや実物からさまざまな情報を得て，それに感想や思いを新たに付加した後，発信することができた。
	人間関係をつくる力（交流相手・学級内）	３	学級・学年では一度に表現できないために，アートマイルリーダーの提案によりグループに分かれて表現した。
２	協同作業をする力	４	実行委員会としてアートマイルリーダーたちが学年の話し合いに代表で出るとともに各学級で活躍することができた。その提案のもと，各自仲良く描くことができた。
	異文化の理解	３	インドネシアの生き物を生き生きと表現しているジャカルタのアートマイルを鑑賞したり，ＨＰに掲載されている生き物を見たりして，異国の様子に思いを馳せ，ニュースや地図・地球儀に興味を持つことができた。（自分の地域の生き物を見つめ，絵につけくわえをすることもできた。） 熊本に新幹線が通る予定があったり
１	自文化の理解・自分を見つめる力	５	自分の命や成長を肯定的に感じ見つめていくような気付きを持つことができた。生活科の学習との関連が大きかった。
４	表現力	３	生活科の学習で出会った命について，もう一度振り返り表現することができた。
５	学習を追究する意欲	４	各学級で分担した表現，学年全体で行った展覧会開催など，

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
アートマイルの大きさは、100 人近い人数で描くにはやや小さいと思われたが，低学年の児童が普段使っている筆で自分の描きたいものを自由に描くには，ちょうどよい大きさであった。 学習したことを表現したり，表現を生かして交流したりすることで，学習した内容を複数回振り返りながら，他校の思いや表現と比べながら学習を深めることができた。	初めてアートマイルを知った教師や児童は，その意味や効果的な学習の手立てが見えなかった。 交流を行っていくうちに交流相手に触発され，それぞれが書き加えをしたくなった。それは素晴らしいことだったが，書き加えをしたことで，テーマが揺らぐ可能性もあった。 評価シート（振り返り）に画像を添付することで，活動をより理解することができるようにできるのではないかと考えた。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望など。

低学年におけるアートマイルの交流は，英語等の外国語を必要としないものを行いたいと考えながら，交流を呼びかけた。それぞれの表現方法の違いもあり，楽しい交流を行うことができた。

ＪＡＭおよび熊本市立春日小学校・ジャカルタ日本人学校のご理解・ご協力に深く感謝いたします。

ありがとうございました。